

春本番、桜の季節となりました。ビレジサポートの2年目を、多くの会員の皆様と迎えられたことに感謝を申し上げます。又、2014年度会員への更新をいただいた皆様、ありがとうございました。今回は、事業・開発部の「受託事業」についてのご報告です。

拡がる受託事業

一事業・開発部 活動報告



ビレジサポートの主体的な活動「助け合い事業」の安定的な運営を支えるため、外部団体からの受託事業を積極的に進めています。昨年10月、NPO法人に認定されたことにより、柏市を始め近隣の団体や民間企業からの受託事業を受け入れる体制も整いつつあり、確実な進展を期したいと考えています。

ビレジサポート 会員ニュース

第4号
2014.3.25

発行：
NPO法人 ビレジサポート

会員数 179人
(内賛助会員 24人)

2014年2月末現在

柏市からビレジ緑道管理事業を受託！

公園や緑地などの公共施設を専門業者からビレジサポートのような民間団体に委託して行こうという市の方針に呼応し、昨年来続けて来た柏市公園管理課へのアプローチにより、平成26年度ビレジ緑道の管理事業の受託となりました。念願の柏市との初の仕事となります。ビレジ緑道第3、4緑道（全緑道の1/3強の広さ）の樹木、生垣の剪定、除草、清掃、点検などの管理業務を担当、第1、2緑道は従来通り専門業者へ委託、ビレジサポートの実力が試されます。

私たちの散歩道・ビレジ緑道！ 自分たちで美しく！一緒に楽しく取り組もう！

ビレジサポート会員の皆様はもちろん、緑道沿いの住民の方々、全住民に広くボランティアを募り推進して行きたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

「まちの健康研究所 あ・し・た」の運営を受託！

昨秋、会員50名のご協力を頂き、成功裡に終了した「歩行速度測定プロジェクト」の一環として、大手民間企業グループによる“まちの健康研究所”が、7月オープンを目指して柏の葉キャンパスに建設中の「ゲートスクエア」に登場します。

高齢化が進む現代社会、“健康長寿”がキーワードになるでしょう。東大や東京都健康長寿医療センターの研究者の監修をもとに、歩行速度のような健康増進効果が明確な項目の測定、エビデンスに基づいた専門家のアドバイスなど、健康に関連したあらゆる分野の衆知が集結されます。

健康に無関心な人ほど老後の介護生活を余儀なくされると言われます。“まちの健康研究所”を訪れる人たち・メンバーを、初年度1,000名という高い目標が設定されています。柏ビレジだけでなく、柏の葉キャンパス、その他近隣地域との連携も必要になると思われます。“まちの健康研究所”の受付・案内要員の管理、運営へのアドバイスなどの業務を受託、現在、細部を詰めています。会員の皆様を始め、ご友人、知人の方々のご協力をお願いします。

裏面の

ご案内

■ビレジに魚屋？！
(大槌町と繋ぐ)

■鍵っ子倶楽部？
(キャンパスの
遊歩道管理)

■歩け、歩け！！
(歩行速度測定)

■目指すぞ！！
(今後の課題)

■被災地・岩手県大槌町の鮮魚、特産海産物をビレジ住民へ！

昨年のクリスマスイベントで、被災地大槌町の新巻鮭などの水産加工品のテスト販売、iPad 魚屋さんによる小樽市の鮮魚販売を行いました（写真①～③）。だんだん買い物が不便になってくる柏ビレジのような地域での試みとして東京大学や関連企業からのサポートを頂くことが出来ました。午後2時から日没までの2時間ほどで約14万円の売り上げ、PR不足の中予想以上の成果でした。現在、大槌町では経済産業省、東大が中心となって復興後の新しい水産業を立ち上げる事業が進行中。ビレジ内空き店舗を活用した「首都圏住宅地における大槌特産品販売可能性調査」として、引き続き援助を受けて推進することになりました。

6月からの販売開始を目指して、目下計画の細部を検討中です。大槌町鮮魚店「魚よし」とiPadでつなぐ鮮魚販売、新商品開発が続く水産加工品の販売を通して、ビレジ住民の皆様へ、産地直送の割安で新鮮な魚介類をお届けする事業を展開すべく準備中です。

空き店舗の活用はビレジ商店街の活性化に繋がり、活き活きとした街造りに貢献したいと願っています。



① 水産加工品の販売



② 新巻鮭の試食販売



③ iPad 魚屋さん



④ 歩行速度測定の説明会

■ 柏の葉キャンパス遊歩道の管理業務を推進中！

遊水地を囲む散策路の管理業務を三井不動産から受託、昨年11月から推進中です。

約200mの散策路、1年365日毎朝夕の門扉の開錠、施錠、警報装置管理の仕事です。

会員有志18名で「鍵っ子倶楽部」を編成、確実に真摯な管理業務の遂行、綿密な毎月の報告書などが、三井不動産からも高い評価を受け、今後も仕事があれば是非お願いしたいと言われています。

2017年5月に遊歩道が千葉県から柏市へ移管されるまで続く2年半のプロジェクトです。

■ 歩行速度測定プロジェクト成功裡に完了！

総務省、東大、30社以上の民間企業で構成されるHIPから受託、会員有志50名ものモニターの皆様のご協力で昨年9月末から3か月間に亘って実施された歩行速度測定（写真④）、目標の80日間50日の歩行に対し、平均で57.1日という好成績となり、関係者から高い評価を受けました。

モニターの皆様の健康への関心、参画意識の高さが評価され、来年度の「まちの健康研究所」事業の受託成功に繋がりました。改めてお礼申し上げます。

■ これからの課題・・・会員の皆様のご協力に期待！！

- 柏市から初の受託となった緑道管理業務を確実に遂行し、市の他の施設管理業務の獲得を推進。
- 柏の葉キャンパス地域のコミュニティ活動の進展を意識し、三井不動産、東京大学などとの連携を図り新たな新規事業を開拓。
- 自治会・活性化委員会と協力、空き店舗を活用した新規事業の模索。
- 大槌町海産物販売を発展させ、他地域との連携による消費地・産地直結型モデルの模索。